

「大阪市子ども読書活動推進計画」とは

計画策定の経過

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境を推進していくことは極めて重要です。

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」（推進法）が施行され、子どもの読書活動の推進に関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにしました。同法において地方公共団体は、推進計画を策定するよう努めなければならないとされています。

国

「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」
平成14年 → 平成25年（第三次基本計画）

大阪府

「大阪府子ども読書活動推進計画」
平成15年 → 平成28年（第3次計画）

本市における計画策定 「推進法」第9条第2項に規定される「市町村子ども読書活動推進計画」

【第1次計画】 国の「基本計画」、府の「大阪府子ども読書活動推進計画」を基本として18年3月策定

【第2次計画】

- 平成19年度から毎年、有識者、社会教育団体、各区のボランティアグループ代表者等で構成する「大阪市子ども読書活動推進連絡会」（以下「連絡会」）を開催し、学校、図書館等における実施状況の報告・検証を行う。
- 素案について「連絡会」での有識者等からの意見聴取を行い、原案作成
- 平成24年12月教育委員会議での審議、パブリックコメントの実施
- 平成25年3月教育委員会議で可決、4月公表

- 平成27年4月 改正学校図書館法の施行
- 平成29年3月「大阪市教育振興基本計画」・「生涯学習大阪計画」改訂
「大阪市教育振興基本計画」施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援
取組み:学校図書館の活性化、市立図書館から小・中学校への図書の団体貸出、地域図書館の整備など
目標:「全国学力・学習状況調査」における不読回答、読書好きの児童・生徒の割合を全国平均に

第2次計画、「大阪市教育振興基本計画」を継承して、第3次計画を策定する

「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」の振り返り

重点的取組みと成果

10項目中6項目達成

重点的取組み	23年度 実績	28年度 (目標値)	達成
① 子育て支援施設での読み聞かせ	97か所	110か所(105か所)	○
② 学校図書館(小) 週当たり開館回数	4.2回	7.6回 (5回以上)	○
③ 「読書が好き」な児童・生徒の割合(「全国学力・学習状況調査」)	(小) 66.6% (中) 56.8% 【H24年度】	(小) 69.9% (中) 59.6% (全国平均(小) 74.6%(中) 69.9%)	△
④ 昼休みや休みの日に学校図書館や地域図書館を利用しない児童・生徒の割合(「全国学力・学習状況調査」)	(小) 48.1% (中) 72.8% 【H24年度】	(小) 45.0% (中) 71.9% (全国平均(小) 31.1% (中) 58.0%)	△
⑤ 市立図書館 児童書の貸出冊数	270万冊	312万冊(280万冊)	○
⑥ 市立図書館 13~19歳の年度利用者数	18.9千人	19.0千人(※) (22.0千人)	△
⑦ 「ティーンズのページ」アクセス数	6.3千件	6.6千件 (10.0千件以上)	△
⑧ 市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	5.2万冊	11.8万冊 (6.0万冊以上)	○
⑨ 読書活動支援ボランティア数	2.4千人	2.5千人 (2.5千人以上)	○
⑩ 「子どもの読書活動推進連絡会(全市、区)」	全市、各区年1回以上開催 (同・年1回以上開催)		○

未達成の課題

- ◎「全国学力・学習状況調査」における
 - ・「読書が好き」と答える児童・生徒の割合
 - ・学校図書館・室や地域の図書館を利用しない児童・生徒の割合
- ◎ティーンズ世代の市立図書館利用
 - ・年度利用者数
 - ・市立図書館ホームページ「ティーンズのページ」アクセス数

分析

- ・学校図書館補助員の配置によって開館回数を増やし環境整備を進めたことにより、「読書が好き」と回答する児童生徒の割合は増えたが、全国平均の数値も改善したため、全国平均との差は残っている。
- ・中学生の指標数値の改善はゆるやかで、学校段階が進むにつれて読書離れが進む、という全国的な傾向と同様の状況が見られる。
- ・学校図書館の環境整備が進んでおり、学校図書館を活用した教育の一層の推進が求められる。
- ・中高校生が課題等で活用できるブックリストの掲載等、市立図書館による、ティーンズ世代のニーズに、より即した情報提供が求められる。

対応

- ・魅力ある学校図書館づくりを進め、学校図書館を活用した教育を推進
- ・中高校生がよく利用している情報提供サービスから「ティーンズのページ」等への誘導を行うなど、SNSを活用した情報発信

(※) 平成26年1月から実施のカード統合(1人1枚)を考慮した補正值

第3次計画（平成30年度～32年度）の概要

すべての子どもが生き生きと読書を楽しめるよう、
家庭、地域、学校が連携して取り組みます

最重要目標	現状	目標値
①「全国学力・学習状況調査」 読書を「全くしない」児童・生徒の割合【新】	(小)26.8%、(中) 50.0%【H29.8】	全国平均
②「全国学力・学習状況調査」 「読書は好きだ」と答える児童・生徒の割合	(小)69.5%、(中) 59.1%【H29.8】	全国平均

※最重要目標は大阪市教育振興基本計画と整合させた設定

取組目標・指標	現状	目標値
③子育て支援施設の読み聞かせ実施施設数割合	100%	100%
④学校図書館週当たり開館回数 (小学校：週20回、中学校：週15回中)	(小)7.6回 (中)7.2回	(小)8回以上 (中)8回以上
⑤小中学校の大阪市図書標準達成【新】	100%	100%
⑥小中学校での一斉読書実施率【新】	(小)88.3%、(中) 78.9%【H29.5】	(小)100%、 (中)100%
⑦「全国学力・学習状況調査」学校図書館や地 域図書館を利用しない児童・生徒の割合	(小)45.7%、(中) 72.1%【H29.8】	全国平均
⑧市立図書館 児童書の貸出冊数	312万冊	315万冊
⑨「としょかんポイント」15歳以下参加者【新】	4.6千人	10.0千人
⑩市立図書館 13歳～19歳の登録者数	3.7万人	3.9万人
⑪「ティーンズのページ」アクセス数	6.6千件	7千件
⑫調べかたリーフレットの作成【新】	—	全校配布
⑬子育て支援施設等への配本【新】	380回	430回
⑭学校との連携事業回数【新】	4,481回	4,600回
⑮市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	11.8万冊	13万冊
⑯市立図書館のSNSでの情報発信件数【新】	1,102回	1,200回
⑰市立図書館ホームページアクセス数【新】	778万件	800万件
⑱読書活動支援ボランティア数	2,565人	2,500人維持
⑲市立図書館と区役所等との連携事業回数【新】	1,914回	2,000回
⑳「子どもの読書活動推進連絡会（全市、区）」	年1回以上	年1回以上

基本方針1. 子どもの読書環境の整備・充実

家庭・地域での読書活動推進

乳幼児健診時の読み聞かせ実施、図書館との連携・協力

学校での読書活動推進

学校図書館の環境整備

学校図書館を活用した教育の推進：読書に親しむ児童生徒の育成
児童生徒の情報活用能力の向上

市立図書館での読書活動推進

児童書の充実、乳幼児向け催しの実施

中高生を中心とした若年層への働きかけ

市立図書館 Wi-Fi 環境の利用促進

地域資料・地域の情報の収集・発信

幼稚園・保育所・子育て支援施設、学校との連携・支援強化

基本方針2. 子どもの読書活動に関する普及・啓発

「子ども読書の日記念事業」など読書普及・啓発事業の実施

SNSを使った情報発信の拡大

基本方針3. 人と本、人と人をつなぐ場の拡大

区役所など地域の関係諸機関・団体の連携協力

「子どもの読書活動推進連絡会」の継続実施